

暑い日々が続いております。熱中症手前の状態などもある様子、皆さま、いかがでしょうか。十分に理解している状況ながらも起きる実態、変化が速いのでしょうか。小まめに水分を取るに越したことはないですね。お盆休みまでもう一息、そんな思いで休みを楽しみにしております。

さて、促進員情報 10-20 7.10 添付ファイル『令和4年度「過労死等の労災補償状況」を公表します』のスライドが開けない状態、確認不足で大変申し訳ありません。再度添付ファイルいたしましたのでご査収ください。どうぞ宜しくお願いいたします。(菅野)

## 目次

- 1 89回がん対策推進協議会（資料）
- 2 「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」の報告書を公表します
- 3 関連情報

### 1 第89回がん対策推進協議会（資料）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l/?p=U7TjAk5Vr22TRkXBY>

議事次第 [PDF 形式：68KB]

- 資料1 第4期がん対策推進基本計画のスケジュール [PDF 形式：308KB]
- 資料2 第4期がん対策推進基本計画ロジックモデル 暫定版 [PDF 形式：654KB]
- 資料3 第4期がん対策推進基本計画評価指標一覧 暫定版 [PDF 形式：401KB]
- 資料4 井上参考人提出資料 [PDF 形式：571KB]
- 資料5 鈴木参考人提出資料 [PDF 形式：884KB]
- △参考資料1 がん対策推進協議会委員名簿 [PDF 形式：406KB]
- △参考資料2 がん対策基本法 [PDF 形式：294KB]
- △参考資料3 がん対策推進基本計画中間評価報告書（令和4年6月） [PDF 形式：1.4MB]

<一部抜粋>

#### ①就労支援について

##### (ア) 医療機関等における就労支援について

(進捗状況及び指標測定結果)

がん患者等が治療と仕事を両立できるよう、両立支援コーディネーター（46）の育成・配置や、「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」「企業・医療 機関連携マニュアル」等を作成し、普及啓発を進めている点は評価できる。また、診断時から個々の事情に応じた就労支援を行うための「治療と仕事両立プラン」（47）を開発し、モデル事業を経て「がん患者の就労に関する総合支援事業」を拡充し、同プランを活用した就労支援を実施している点についても評価できる。診断時、収入のある仕事をしている人のうち、治療開始前に就労の継続について、病院の医療スタッフから説明が「あった」と回答した人は4割程度に留まり、がん治療の開始前までに退職した人が多い点について

は、課題である。がん相談支援センターにおける就労に関する相談件数は、年間 25,000 件の目標値を超えており、評価できる。

		2018 年度
304148	治療開始前に、就労継続について説明を受けたがん患者の割合	39.5%
3042	がんと診断後も仕事を継続していたがん患者の割合	82.3%
3043	退職したがん患者のうち、がん治療の開始前までに退職した者の割合	56.8%

(46) 独立行政法人労働者健康安全機構において研修を実施し、2021 年 3 月末時 7,531 人養成。(目標：2020 年度までに 2,000 人養成)

(47) 2017 年度厚生労働科学研究「働くがん患者の就労継続および職場復帰に資する研究」の研究班で作成。

(48) 項目番号 3041-3043、3046-3047 の患者体験調査の対象となる患者は 19 歳以上。

## (イ) 職場や地域における就労支援について

(進捗状況及び指標測定結果)

社内制度の導入を進めるために、「治療と仕事の両立支援助成金」の活用を促している。また、ポータルサイトによる情報発信やシンポジウムの開催等を行うとともに、都道府県労働局を事務局とした「地域両立支援推進チーム」を設置し、企業文化の抜本改革、両立支援の普及推進を図っている。2019 年には全ての都道府県産業保健総合支援センターに両立支援コーディネーターを配置し、産業医が不在の中小企業等に対し、制度導入や教育等について具体的な支援を実施している。治療と仕事を両立するための社内制度等を利用した人の割合は 36.1%、勤務上の配慮がなされていると回答した人の割合は増加しており、一定の評価ができるものの更なる改善の余地があるものと考えられる。

[△参考資料 4 第 4 期がん対策推進基本計画（令和 5 年 3 月閣議決定）\[PDF 形式：1.2MB\]](#)

[△参考資料 5 「経済財政運営と改革の基本方針 2023」より抜粋 \[PDF 形式：136KB\]](#)

[△参考資料 6 第 4 期がん対策推進基本計画評価指標一覧 暫定版 \[PDF 形式：317KB\]](#)

[△参考資料 7 令和 4 年国民生活基礎調査におけるがん検診受診率 \[PDF 形式：188KB\]](#)

## 2 「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」の報告書を公表します

[https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_33933.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_33933.html)

厚生労働省は、7 月 4 日、「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」（座長：東邦大学 名誉教授 黒木 宣夫）が取りまとめた報告書を公表しました。（略）

厚生労働省では、この報告書を受け、精神障害の労災認定基準を速やかに改正し、一層迅速適正な労災補償を実施することとしています。

### 報告書のポイント

■業務による心理的負荷評価表\*の見直し

○具体的出来事「顧客や取引先、施設利用者等から著しい迷惑行為を受けた」（いわゆる顧客ハラスメント）を追加

- 具体的出来事「感染症等の病気や事故の危険性が高い業務に従事した」を追加
- 心理的負荷の強度が「強」「中」「弱」となる具体例を拡充（パワーハラスメントの6類型すべての具体例の明記等）

※実際に発生した業務による出来事を、同表に示す「具体的出来事」に当てはめ負荷（ストレス）の強さを評価

■精神障害の悪化の業務起因性が認められる範囲を見直し

- 悪化前おおむね6か月以内に「特別な出来事」がない場合でも、「業務による強い心理的負荷」により悪化したときには、悪化した部分について業務起因性を認める

■医学意見の収集方法を効率化

- 専門医3名の合議により決定していた事案を1名の意見で決定できるよう変更

添付資料

資料1 [検討会報告書の概要 \[330KB\]](#)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201000/001117850.pdf>

資料2 [「精神障害の労災認定の基準に関する専門検討会」報告書 \[1.5MB\]](#)

<https://www.mhlw.go.jp/content/11201000/001117056.pdf>

### 3 関連情報

◇ 厚生労働省▼△新着情報配信サービス から

- (1) G20 労働雇用大臣会合がインドで開催され、加藤厚生労働大臣が出席しました。

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=o0QB3tmErpqRmXoxY>

- (2) 第13回今後のがん研究のあり方に関する有識者会議（開催案内）

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=k3Q8021QRKJ6MFCBY>

- (3) 令和5年度「世界患者安全の日」について

[https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=\\_xhL70EUzYDRIs9tY](https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=_xhL70EUzYDRIs9tY)

- (4) 新型コロナウイルス感染症に関する報道発表資料を更新しました

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=q0wBn58af2Jrtu45Y>

○[2023年7月21日 新型コロナウイルス感染症\(COVID-19\)の発生状況等について \[PDF形式：755KB\] \[755KB\]](#)

<https://www.mhlw.go.jp/content/001122882.pdf>

- (5) インフルエンザに関する報道発表資料

<https://www.mhlw.go.jp/haishin/u/l?p=NdKfAQGE4fz1KG-nY>

○[2023年7月21日 インフルエンザの発生状況について \[PDF形式：262KB\] \[262KB\]](#)

<https://www.mhlw.go.jp/content/001123052.pdf>

◇ J I L P T から

(1) 労災の死亡者数 6.2%減、休業 4 日以上死傷者数 0.3%増／厚労省集計

厚生労働省は 18 日、2023 年の労働災害発生状況（7 月速報値）を公表した。2023 年における死亡災害は、死亡者数が 302 人で前年同期比 6.2%減少。業種別では、建設業 88 人（同 18.5%減）、第三次産業 77 人（同 7.2%減）、製造業 59 人（同 19.2%減）、陸上貨物運送事業 46 人（同 39.4%増）など。事故の型別では、「墜落・転落」76 人（同 24.0%減）が最多のほか、交通事故（道路）62 人（同 51.2%増）。休業 4 日以上の死傷者数は 5 万 2,956 人で、前年同期比 0.3%増加。業種別では、第三次産業の 2 万 6,325 人（同 1.8%増）が最多。事故の型別では、「転倒」1 万 4,943 人（同 0.5%減）、「墜落・転落」8,341 人（同 1.8%減）など。なお、今回公表された数値は、新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を除いたもの。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei11/rousai-hassei/dl/23-07.pdf>

（統計表）

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/roudoukijun/anzeneisei11/rousai-hassei/index.html>

(2) 「レジャー白書 2023」を公表、仕事より「余暇」重視の傾向／民間調査

日本生産性本部は 14 日、「レジャー白書 2023」（速報版）を発表した。余暇活動実態調査の結果をみると、仕事（勉強や家事を含む）と余暇のどちらを重視するかを尋ねたところ、63.9%が「余暇を重視する」傾向にあった。特に「仕事よりも余暇の中に生きがいを求める」の回答率が 2020 年以降増加。余暇活動の参加率は「国内観光旅行（避暑、避寒、温泉など）」が、前年(2021 年)から 10 ポイント上昇して 42.8%となり、2019 年以来の 1 位となった。しかし、コロナ禍前の 2019 年の参加率の水準（54.3%）には戻っていない。

（報道発表資料）

[https://www.jpc-net.jp/research/assets/pdf/release\\_2023\\_leisure\\_pre.pdf](https://www.jpc-net.jp/research/assets/pdf/release_2023_leisure_pre.pdf)

（詳細資料）

[https://www.jpc-net.jp/research/assets/pdf/app\\_2023\\_leisure\\_pre.pdf](https://www.jpc-net.jp/research/assets/pdf/app_2023_leisure_pre.pdf)

(3) 「学校の働き方改革」の推進等を提言／22 年度・文部科学白書

文部科学省は 18 日、2022 年度の文部科学白書を公表した。特集は、「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について。多様な専門性を有する質の高い教職員集団を形成していくためには、教職員の多様性を配慮したマネジメントの実現や、「学校の働き方改革」の推進などが必要と提言。教師の勤務環境が、教職志望者の動向に影響を与えているとの指摘もあり、在校等時間の客観的な把握をはじめとする勤務時間管理の徹底や、業務の役割分担・適正化などに積極的に取り組む必要があるとしている。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/hakusho/html/hpab202001/1420041\\_00015.htm](https://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/html/hpab202001/1420041_00015.htm)

#### (4) セミナー「どうする現場の安全管理」／大原記念労働科学研究所

大原記念労働科学研究所は8月28日(月)、オンラインセミナー「どうする現場の安全管理」を開催する。現場の安全管理について、安全文化、基本確認行為、テクニカルスキル等について、危機管理専門家に聞く。参加無料、事前に同所のWEBサイトより申し込む。

<https://www.isl.or.jp/service/seminar/2023.php>

(セミナーのご案内)

<https://www.isl.or.jp/service/seminar/file/seminar202308.pdf>

◇ ◆【From\_M】から 情報提供ありがとうございます

◆経団連夏季フォーラムが始まる 定年シニアの労働環境整備議題に

<https://news.yahoo.co.jp/articles/41cbf91302dff9754b4bf8ceb2908b24e37128b0>

経団連の夏季フォーラムが20日、長野県軽井沢町で2日間の日程で始まった。今年のテーマは「資本主義の再構築と人材育成」。初日の議論では、高齢者層が能力を発揮しながら働ける環境の整備や、労働者の学び直しの必要性を訴える意見が相次いだ。

「人生100年時代の人材育成」と題したセッションでは、講師を務めた東大大学院経済学研究科の柳川範之教授が、定年後も労働意欲のあるシニア層が経験や知見を生かして働ける新しい職場づくり▽同じ企業に長く勤めない非正規労働者の能力開発の支援▽就職後も大学などでいつでも学び直せるような学校教育、入試のあり方や企業の働き方の見直し――などの必要性について問題提起した。

◆涼しい建物内での仕事だったのに、まさか…気をつけたい「熱中症」を気象予報士の視点から考えてみた

<https://news.yahoo.co.jp/articles/524ec7769e2dc895f5a367609d21b0589d65d1a5>

「環境」で気をつけられないといけないのは… ▽気温が高い ▽湿度が高い ▽風が弱い  
▽日差しが強い ▽閉め切った屋内 ▽エアコンのない部屋 ▽急に暑くなった日  
▽熱波の襲来 これらの要因により熱中症が起こってしまう恐れがあります。

◆【なぜ生きるのか】

杉良太郎が語った“福祉活動を続ける”信念「人助けを大ごとに考えていない」

<https://news.yahoo.co.jp/articles/1aaa880f912cffd17741684d9ba6aef6b7f72111>

7月10日、東京大学にて。杉良太郎が行った特別講義をレポート

現在、日本人の平均寿命は男性81.49才、女性87.60才で、明治時代の約2倍となった。2050年には女性の平均寿命は90才を超える見込みだという。だが、長生きは決して楽しいことばかりではない。私たちにとって生き続ける意味とは――

◆「横浜市健康経営ハンドブック」(PDF: 3762KB)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko->

[iryo/kenkozukuri/kakushu/life\\_style/ninsho/page01.files/0050\\_20230719.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/kenkozukuri/kakushu/life_style/ninsho/page01.files/0050_20230719.pdf)

「健康経営を始めたいけど、どのように始めるのかわからない…」

「健康経営を始めたので、更に進めていきたい！」

このハンドブックでは、健康課題別の取組例も交えながら、健康経営の始め方や進め方をまとめました。事業所での健康経営の推進にぜひご活用ください。

◆横浜市がん治療と仕事の両立に関する事業所調査結果を発表します！

(医療局地域医療部がん・疾病対策課)

<https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/iryoy/2023/0720jigyoushochousa.html>

【記者発表】(医療局・7月20日10時)「横浜市がん治療と仕事の両立に関する事業所調査結果を発表します！」(PDF:554KB)

[https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/iryoy/2023/0720jigyoushochousa.files/0008\\_20230711.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/city-info/koho-kocho/press/iryoy/2023/0720jigyoushochousa.files/0008_20230711.pdf)

がん治療と仕事の両立に向けて 横浜市

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryoy/iryoy/gan/taisaku/gan-ryouritsu.html>

横浜市がん治療と仕事の両立に関する事業所調査報告書(令和5年7月公表)

(PDF:3,372KB)

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryoy/iryoy/gan/taisaku/gan-ryouritsu.files/0043\\_20230711.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryoy/iryoy/gan/taisaku/gan-ryouritsu.files/0043_20230711.pdf)

(参考)前回調査(平成28年度、29年10月公表)横浜市がん患者の就労等に関する調査報告書(PDF:6,299KB)

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryoy/iryoy/gan/taisaku/gan-ryouritsu.files/0001\\_20180921.pdf](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryoy/iryoy/gan/taisaku/gan-ryouritsu.files/0001_20180921.pdf)

【結果のポイント】<一部抜粋>

・市内事業所のがん検診の実施状況は、事業所が実施する定期健康診断で実施43.9%、契約検診機関で実施14.1%、自治体のがん検診を利用9.4%、検診を実施していない35.1%(略)

◆令和5年度第4回入院・外来医療等の調査・評価分科会 資料

[https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500\\_00198.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000212500_00198.html)

令和5年7月20日(木) 15:00~17:00 於 ハイブリッド開催

◆がん化学療法の外来移行、「栄養指導」や「仕事と治療との両立支援」などと一体的・総合的に進めよ—入院・外来医療分科会(1)|GemMed

<https://gemmed.ghc-j.com/?p=55288>

目次

1 外来腫瘍化学療法診療料を取得しながら、化学療法をすべて入院で実施する病院がある

2 がん化学療法の外来移行、「栄養指導の充実」「仕事と治療の両立支援」等と一体的推進を

3 「時間外の透析」が進んでいるように、「外来がん化学療法の時間外実施」も進めよ

- ◆「健康経営の取り組み、正直どう思ってる？」従業員 1,000 人に聞いた調査結果を大発表！～従業員を巻き込んで推進するためのポイントは〇〇？～

○詳しい内容は[こちら](#)

[https://www.armg.jp/journal/303-2/?utm\\_source=mail&utm\\_medium=email&utm\\_campaign=armm05227&ss\\_ad\\_code=armm05227&\\_CAMVID=DpiPdKede&\\_c\\_d=1&uns\\_flg=1&\\_urlmid=8821331&\\_CAMSID=yPiPdKede-30&\\_CAMCID=vgsNZqmdix-790&adtype=mail](https://www.armg.jp/journal/303-2/?utm_source=mail&utm_medium=email&utm_campaign=armm05227&ss_ad_code=armm05227&_CAMVID=DpiPdKede&_c_d=1&uns_flg=1&_urlmid=8821331&_CAMSID=yPiPdKede-30&_CAMCID=vgsNZqmdix-790&adtype=mail)

- ◆ストレスチェックの集団分析結果を活用した職場環境改善事例集  
～職場環境改善の好事例～令和 5 年 7 月

埼玉県教育局教育総務部福利課 健康づくり・メンタルヘルス担当

<https://www.pref.saitama.lg.jp/documents/134797/r4jireisyu.pdf>

- ◆「コンプライアンス」の定義とは～「コンプライアンス」を“自分ごと”として捉える大切さ～

[https://jmar-im.com/column\\_compliance/compliance01/](https://jmar-im.com/column_compliance/compliance01/)

- ◆つまらない仕事、で終わらせない。仕事に意味を見出す「ジョブ・クラフティング」が社員と企業を成長させる！ 日本的人事部

<https://news.yahoo.co.jp/articles/0e41ab5f44e7fb73e1be1aeaabab75bfce40e001>

- ◆さんぽ保健師コラム 2023 年 夏休み号 - 沖縄産業保健総合支援センター

<https://www.okinawas.johas.go.jp/hokenColmn/>

<https://www.okinawas.johas.go.jp/hokenColmn/file/02350.pdf>

- ◆世界中で続く酷暑、連日の記録更新 ローマ 40 度超、バグダッド 50 度

<https://news.yahoo.co.jp/articles/c857a9b5deb890a6bdb4ffd02891f3bcca1c7d09>

- ◆長時間労働医師に対する面接指導に関するロールプレイ研修の開催について

<https://ajhc.or.jp/siryo/semi-rpsemi.pdf>

令和 6 年 4 月から、医療法に基づき長時間労働医師に対して実施が義務付けられる「面接指導」について、少人数グループで実際の面接指導を擬似的に実施する「ロールプレイ研修」が以下のとおり開催されます。

- 1.開催日時：令和 5 年 8 月 20 日～令和 6 年 3 月 2 日  
(全 28 回開催予定) 平日・13:30～17:30／土日祝・9:00～13:00
- 2.開催方法：オンライン (Zoom) 開催
- 3.参加資格：面接指導実施医師養成講習会 受講修了者 (略)
- 6.参加費：無料
- 7.申込方法：医師の働き方改革・面接指導実施医師養成ナビの面接指導実施医師養成講習会ログイン後に表示される「ロールプレイ研修申込」より希望日時を選択

<https://ishimensetsu.mhlw.go.jp/>

◆こころの耳：働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト

<https://kokoro.mhlw.go.jp/>

○「性別違和について相談を受けた方へ」、「こころの耳」では支援しています。

約4分の動画をご覧ください。

<https://kokoro.mhlw.go.jp/fivemin/#nf-4-3>

○「つらい気持ちを抱えている方へ」、「こころの耳」では支援しています。

まずは3分の動画をご覧ください。

<https://kokoro.mhlw.go.jp/life/>

◆日本人の自覚症状のトップは男女とも腰痛。

高血圧、糖尿病、脂質異常症での通院が上昇！

～国民の健康、介護、貯蓄に関する「令和4年国民生活基礎調査」（厚労省）～

<https://seikatsusyukanbyo.com/calendar/2023/010723.php>

厚生労働省は7月4日、「令和4年国民生活基礎調査」の結果を公表しました。同調査は毎年実施され、かつ3年ごとに大規模調査として実施されており、令和4年はその大規模調査の年でした。

◇ ICFのはじまりと変遷～なぜICF?～ 「ケトレーとナイチンゲール」

新刊『マンガと図説で見てわかるICF（国際生活機能分類）の使いかた』

第1章「ICFのはじまりと変遷～なぜICF?～」【全文公開！】

回復期リハ領域で患者さんの全体像を把握し、多職種チームで情報を共有するための必須のツールとなっているICFの活用事例を、マンガを使ってわかりやすく解説！

★【無料】出版記念セミナー

「ICFで学ぶ！リハビリテーションのマインドとロジカルテクニック」

8月27日（日）開催！

▼続きはこちら

<<https://ml.medica.co.jp/ICF/1660/?bdmlc=MTAwMDQ1XzEwNjIwXzEyNzUzMTZfMQ&bdl=1>>

小野田 富貴子（両立支援担当）

[fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp](mailto:fukiko-onoda@honbu.johas.go.jp)

中山 篤（メンタルヘルス担当）

[atsui78natsu@gmail.com](mailto:atsui78natsu@gmail.com)

菅野 由喜子（メンタルヘルス担当）

[yukikan28@gmail.com](mailto:yukikan28@gmail.com)